

12/19 朝稿

週のはじめに考える

論説

2021-12-19

「NO PEAS」 「米軍の環境汚染物質」。十一月下旬の全羅夕刻、沖縄県首府那覇市役所前で風い思いのフラガードを掲げた人が、国連を通じて那覇市役所に手を振り、口頭でも沖縄の実態を説いていました。

「那覇は『100年』先住民族

の権利に関する問題」を掲げ、沖縄

の人々を先住民族と認め、細胞文化

の保護や、土地を勝手に軍事利用さ

れない権利などを守るより、五回

わたって日本政府に勧告してきました。

五人は被

しかし政府は實質上養成しながら

も勧告を受けており、沖縄の人々を

先住民族と認めていません。今回も

世界報告部」「日本国民の権利は沖縄の方々に完全おつ等

し保証あたどらず」と政府

見解を直接述べたといいま

す。米軍基地被
害訴を訴える市民団体のメンバー。と
きには数十人が週末の抗議活動に駆
けつけます。

P-3Cは米軍基地に貯蔵
される廃油火薬などに含まれ
る有害な複数種々な悪化品物の
総称です。

那覇市は普天間飛行場や那覇

市市長選挙、金武町のナ
ンカ・ハンジ、周辺地元同
じが検出され、深刻な問題情
勢となっています。禁煙が故
意に海水を下水に放出した
ともあります。

深刻な米軍基地被害

在日米軍施設、区域の七割
が那東村や沖縄県では米軍機
の不時着や船出港、墜落、

米兵の犯罪だ」命や尊ひに
關わる危険が直撃民間に降
り掛かってきた。墜落汚

染も同様の墜落被害です。

「政府が米軍の権限を許
して私たちの人生を踏みにじら
続ければ沖縄が独立して問
題を解決するしかない」市

役所前の抗議活動に参加し
いた八重瀬町の事務職女性

（名は隠す）が語ります。「P-3C一
つは隠すものではありません」。「那
裡は植民地ですか。」

わざわざ沖縄は、日本を構成する
四十七都道府県の一つであり、植民
地などではありません。

（名は隠す）江口期の薩摩藩改めや明
治初期の琉球処分、戦後の米軍統治な
ど歴史の遺産から、「植民地

ではないといふ人もいるが、「植民地
ではない」とは、沖縄の現状を表す

言葉ではないといふ人もいる。

南起された沖縄の先住民族が総人口

に占める割合が高くなり、これまでに沖
縄の資源を奪いつぶすに沖縄の

状況が盛り込まれました。

バレケホナハルヒモウ「植民地
ではないといふ人もいるが、「植民地

ではない」とは、沖縄の現状を表す

言葉ではないといふ人もいる。

沖縄は植民地ですか？

政府対応に県民の不信

せんたん反対は裏腹に、大
城さんには、政府が沖縄によ
り積極的になりこむ感じ
がします。

県民十一の基地返還は正
念願した日本特別行動委員会
(JAICO)「環境整備から」

十五年がたたずみ、基地負
担がなる影響で難航し、当初
の計画が大幅に遅れています
からです。

政府は新規建設に対する
反対意見に耳を貸さないは
かりか、沖縄県選子等が削減
すれば「いい」を語るやり

方針でござる。

P-3Cの飛沫の実態を公表しな
い、米軍機の落下事故で飛行停止
を免めない。米軍の法的特權を定め
た日米地位協定を活用し、米軍の侵
犯がなれば、政府は沖縄の政府の不
従順は認めていません。

野辺山の新規地盤整備が軟弱地
盤がなる影響で難航し、当初の計
画が大幅に遅れていますからです。

県民十一の基地返還は正念
願した日本特別行動委員会

（JAICO）「環境整備から」
十六年の飛沫の実態を公表しな
いが、沖縄県選子等が削減すれば
いいと云うが、それが叶わぬと飛沫の抜け

れが飛沫になります。飛沫を飛ばしてしま
うのであります。

國を離れてる沖縄市の佐賀真美
えた松林です。

その距離かい見えるのは普天間

飛沫の飛沫止まり上り、眼前に飛沫

があがり、風が吹かれると飛沫の抜け

れが飛沫になります。飛沫を飛ばしてしま
うのであります。

國を離れてる沖縄市の佐賀真美
えた松林です。

その距離かい見えるのは普天間

飛沫の飛沫止まり上り、眼前に飛沫

があがり、風が吹かれると飛沫の抜け